

高校生の提言を実現

学びたい気持ちに応える

神奈川県議会議員
民主党・かながわクラブ きしべ 都

県教委は病気やけがで長期間入院している高校生の切実な声を受け、病院に教員を派遣する学習支援策を9月から始めました。

長期入院中の学習支援は、小中学生には大規模病院で「院内学級」が開設されているものの、高校生の支援態勢は整備されていま

せんでした。新制度は入院が20日を超えることなどが条件です。1週間当たり6時間・6科目を上限に在籍校の教員や非常勤講師が健康状態などを医師と相談しながら個別指導します。学習内容は単位認定や進級時の判断材料にもなります。さらに、8月の「かながわハイスクール議会」での「情報議会」が設置されま

す。生徒、学生による教職員向けのSNS講座が開かれる予定です。高校生らが「先生」になり、教職員にSNSを教えるということで話題になりました。情報教育に対する興味・関心が高まり、先生からの一方的な指導ではなく、共に学び合う関係が生まれることなどから今後、注目されます。

現在作業中の県立高校改

みなさまからのご意見、
ご要望をお待ちしています

きしべ都政務活動事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

☎045-341-3385

<http://kishibe-miyako.com/>

革基本計画も「スチユーデント・ファースト(生徒本位)を基調にすべての県立高校で改革に取り組む」ことを基本的な考え方のコンセプトを

